

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (四国)	良くなる やや良くなる	-	-
		衣料品専門店（経営者） 衣料品専門店（経営者） 乗用車販売店（営業担当） 乗用車販売店（役員） 住関連専門店（経営者） タクシー運転手 通信会社（営業担当） 通信会社（営業部長） ゴルフ場（従業員） 設計事務所（所長）	・もう少し肌寒くなって秋冬物衣料の動きが出てくれば、少しは良くなる。 ・昨年は9～10月にかけて涼しさが早く来て、秋を先取りのように感じて、良かった。今年も盆過ぎから初秋物の衣料がそこそこ売れているので、秋後半は良くなるかと期待している。 ・9月に新車の発売予定があり、軽自動車市場の復活に期待している。 ・今年後半に発売予定の新車が、年末から年度末にかけての売上に寄与する事になる。 ・景気は少し悪いと感じられ、近々行われる景気対策によって多少良くなるのではないかと。 ・秋には遍路客が増え、売上は上向いていく。一方、街の様子は変化がほとんど無く、良くもならず悪くもならない。 ・新型スマートフォンの販売開始による市場の活性化を期待している。 ・商品力の高い新製品の発売が想定されている。 ・夏場の暑い時期だから8月の予約状況は非常に悪かった。予約を2～3か月先に延ばす客もあった。秋のゴルフシーズンになると、今よりは良くなる。 ・観光客が増加しており、ホテルの建設等が始まっている。
	変わらない	商店街（事務局長） 商店街（代表者） 一般小売店〔文具店〕（経営者） 百貨店（営業担当） 百貨店（販売促進担当） スーパー（財務担当） コンビニ（店長） コンビニ（総務） コンビニ（商品担当） 衣料品専門店（総務担当） 乗用車販売店（従業員） 乗用車販売店（従業員） その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人） 観光型旅館（経営者） 都市型ホテル（経営者） 旅行代理店（営業部長） タクシー運転手 通信会社（支店長） 通信会社（企画） 観光遊園地（職員） 競艇場（職員）	・日経平均株価が1万8千円を超えないと消費者の財布のヒモは固く、活性化には程遠い。政府の経済対策は今のところ頭打ちで、アメリカ大統領選の頃が経済の転機になると考える。 ・大型客船等が入港して外国人観光客が増えているが、景気を押し上げるまでの消費は生まれてはいない。 ・暑さの影響もあるかもしれないが、来客数、販売量、価格訴求の面からも景気が上向く兆しは感じられない。 ・10月以降は、秋冬に向けた施策により、客の動きが変わることを期待している。 ・株価停滞に加えてデフレの兆しも感じられ、景況の見通しは厳しい。 ・消費者の節約志向は根強く、当面この傾向は変わらない。 ・建設業の客の購買力に力強さを感じる。 ・天候や気温に大きく左右されるが、身の回りの景気には今後も変化が無いと思われる。 ・来客数や販売量が伸びず、競争環境も激化している厳しい状況下では変わらない。 ・この暑さがまだ続くなら、秋物衣料が苦戦する。 ・新型車が発売される予定だが、買い控えが続くと予想する。 ・秋商戦に向け、新型車の計画など明るいニュースはあるが、整備に比べて新車販売は鈍い状態が続いている。 ・良くなる要素が見当たらない。 ・8月は来客数がかかなり多いが、秋は昔に比べて良くない。夏休み、春休み、正月休みはあるのに秋休みは無いから、秋に旅行する人は少ない。 ・県外の宿泊客の動きは良いものの、宴会その他の予約状況が芳しくない。全体では変わらないと予測している。 ・円高の影響で海外旅行の増加に期待しているが、世界情勢が不安定で、テロや災害が続いて先行きが不透明になっている。 ・高知県民の所得が上昇しておらず、最低賃金もあまり上がっていないことから、移動にタクシーを利用する客は少ない。 ・今の時点では大きな変動要素が見当たらない。 ・特に変動要因がなく、現状と変わらない。 ・全体的には堅調であるが、航路の廃止などマイナス要因があるため。 ・9～10月にかけて本場開催は大きなレースが無いものの、場外発売としては周年レースが6場、SGレースが1場、G1レースを2場予定しており、売上げが期待できる。機械入替えて18日間休催する11月は、期待できない。

	やや悪くなる	美容室（経営者）	・特に変化がない。		
		商店街（代表者）	・地方ではアベノミクス等の経済効果はあまり感じられない。円高が進み株価も低迷している現状では、景気は少し後退するのではないかと懸念している。		
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・秋はイベントが少なく、予約状況も鈍い。		
		家電量販店（店員） 乗用車販売店（従業員）	・季節商材が売れなくなると、他にけん引する商品が無い。 ・最低賃金が上昇しても、給与所得者の平均所得が伸びるとは思えない。個人消費アップには繋がらない。		
		住宅販売会社（従業員）	・新規来場者が少なく、今までのリピート客からの受注は徐々に少なくなっている。		
	悪くなる	商店街（代表者）	・地方創生よりも東京一極集中を緩和して、地方の活力を活かす方向が望ましい。しかし、現状では極めて困難な課題である。		
		一般小売店〔乾物〕（店員）	・競合店が増加していることに加えて、人件費やその他経費も増大している。		
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・先行き不安で家計支出は控える傾向にある。外食や酒類などへの影響は特に大きい。		
		スーパー（店長）	・最近「ハロウィーン」関連商品が伸びているが、どこまで景気を押し上げるかは未知数である。それ以外の行事は無く、現在の景気の悪い状態が続く。		
		コンビニ（店長）	・来店客数、客単価をみると購買意欲の低下が感じられる。今後更に悪化するのではないかと懸念している。		
企業 動向 関連 (四国)	良くなる やや良くなる	-	-		
		食料品製造業（商品統括）	・時給アップの方向性や、為替安定による利益確保、利益体質への対応がカギとなる。		
			パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・秋口から年末にかけて受注が活発になって、売上も増加する。	
			電気機械器具製造業（経理）	・若干の受注増を見込んだ販売微増と、製品構成の変化による利益面の改善を予測している。	
			輸送業（経営者）	・差別化が図られ、堅調に推移している。	
			通信業（営業担当）	・テレビCMの引き合いが少し増えている。	
	変わらない		食料品製造業（経営者）	・一般消費者の所得は上がらず、デフレから脱却出来ず、食品の低価格競争が続いている。	
			繊維工業（経営者）	・先行き不透明で、景気が上向き確信は持てないが、省力化や効率化の見込める分野には投資をしていく。多少の波はあるだろうが、長期的にみて需要拡大は見込める。	
				電気機械器具製造業（経営者）	・工場の設備のメンテナンスや設備機器も製造しているが、こちらは様々な動きが出て活発化している。しかし、主力の再生エネルギー、特に太陽光発電設備は下降線をたどっている。
				建設業（経理担当）	・民間工事は増加傾向であるが、競争が厳しい。景気は変わらない。
				建設業（経営者）	・今後も基本的な状況は変わらない。
				建設業（経営者）	・ここ数年、地元企業は国からの受注が難しくなっており、受注額、シェア共に大きく低下してきている。自治体の仕事で何とか帳尻を合わせている状況で、地元企業の苦戦が長期化している。せつかくの公共事業を受注出来ない仕組みは、地方創生・活性の為に大きなマイナスである。
				輸送業（営業）	・雨量が少ないことから、農作物の収穫に影響が及ぶと予想される。特に果物の産地において、加工用に回される物量が多くなると消費地向け出荷物量が減少し、取扱物量が減少し、当社は減収となる。
			金融業（副支店長）	・設備資金の需要が伸びていない。幅広い業種で人材不足を訴える取引先が多く、設備投資を行ってハード面を充実させても人材などソフト面が整わないといった背景から、積極的な投資に踏み切れないとの声が聞こえる。	
		広告代理店（経営者）	・建築・設備関係の会社は順調で、企業広告等の受注があるが、年間広告出稿が比較的多い小売り、流通関係は依然として消費低迷の影響で広告費削減が続いている。		
		公認会計士	・将来に対する不安や円高等を気にする経営者が多く、設備投資に積極的な企業は少ない。		
	やや悪くなる	鉄鋼業（総務部長）	・船舶の大型化がさらに進み、我が社の生産能力を超える鉄鋼品が増加し、受注は今後も減少する見込み。		
		輸送業（支店長）	・猛暑の反動が来る予感がする。円高の影響から輸出産業の物量が減少し、消費税増税の先送りによる駆け込み需要も無くなった。		
	悪くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	・米国経済の成長鈍化、新興国経済の減速、原油価格動向、地政学上の問題など下振れリスクが高まっている。		
雇用	良くなる	-	-		

関連 (四国)	やや良くなる	人材派遣会社（営業）	・10月から最低賃金が改定され、時給が20円以上上がると賃金ベースが上がリ、生活水準も改善される。結果、少しは景気が良くなったと感じられる。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期となり、求人数の増加が見込まれる。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・求人倍率の水準は引き続き高めで推移すると思われるが、求人業種に偏りがあるため、数字だけでは一概に判断しかねる。
		職業安定所	・7月の有効求人倍率は1.30倍で、前月6月の1.28倍より0.02ポイントの上昇にとどまった。
		職業安定所（職員）	・過去には人手不足感が強まれば、採用条件の底上げが起きたが、現在は無い。人手不足と求人条件に連動が見られない。
		民間職業紹介機関（所長）	・空調設備関係などの一部の業種は、猛暑の影響もあり、当分は忙しさが続くようであるが、産業全体では好材料は見受けられない。
	やや悪くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・求人は順調であるが、企業側からは景気が良くなるとも悪くなるとも聞こえない。
		人材派遣会社（営業担当）	・派遣業に登録する求職者が激減しており、ミスマッチが目立つ。派遣料金を改定するなど、人員確保に苦労している。
		求人情報誌（営業） 新聞社〔求人広告〕（担当者）	・コア人材不足は引き続き継続していくことが予想される。 ・クライアント自体それほど活況とは思えない。
	悪くなる	-	-